

(制活) http://www.smt.jp/thinkingtable/
 さる6月18日の土曜日、
 ついに制活編集支援室の参
 加者募集の説明会がせんだ
 いメディアワーク(以下
 smt)1Fの考えるテー
 ブル特設会場にて開催され
 た。約30名の参加者が集ま
 る中、茨城県水戸市からやつ
 て来た美術家の中崎透さん
 (34)は、「制活」といわゆ
 る制作活動の略称であり、
 この企画は日常の中の何気
 ない制作活動や編集行為に
 申しびみは以下のアドレスま
 す。

眼を向け、みんなで話し、
 実際に手を動かしながら手
 作りの新聞やラジオ放送を
 作つていこうという主旨で
 あると話した。中崎さんは
 月間の長期間のワーク
 ショップを開催する。引き
 しり、今回の説明会を皮切り
 に来年の三月までの約10ヶ
 メンバーは募集中のこと。
 れる愉快な宴となる(詳し
 くは裏面の妄想企画室24時
 に)。話の勢いで翌日は参
 加者齊藤氏にちよつとした
 仙台ツアーリに連れ出して
 うこととなる。今回の企
 画では中崎さんは仙台滞在
 三回目にして、行動範囲は
 駅、メディアワーク、国分
 町の飲み屋、以上といつ
 たかんじだつただけに、お
 おいにはしゃいでいた。

交流会は中華屋!
 ▶せんだいメディアワーク企画・活動支援室
 office@smt.city.sendai.jp



もう一つの 制活のはじまり

一体これはなにをするもののか?説明会に集まつた30名ほどの人は、最初は半信半疑の面持ちだった。しかし、これまでの活動紹介を交えながら進められる

中崎のテンポよい話ぶりに、徐々に関心をかきたてられていったようだ。中崎氏の突然の振りに慌てながらも自己紹介するsmtスタッフのテンパつた様子が逆に安心感を与えたのか

もしれない。さて、生活と制作、制作とは表現を意味するが、それらは本来一つのものであつて、ちょっとした編集行為が加わることによって、生活と制作が一つに見えてくる。と、中崎氏は言う。そうです、制活

編集支援室は、中崎氏が提案するラジオと新聞制作の枠組をベースとして、クリエイティブな生活を推進していくプログラムなのです。

思い立つたが吉日、あなた

の参加をお待ちしています。

制活はもう始まっている。そう思

われられる出来事がささやかに起

こつた。6月29日、某学校にチラシ配布のために訪れる説明会は終了

したが、制活編集支援室は引き続き

参加者の募集を受け付けているのだ。

休み時間中の学生の教室などをちよ

こちよこ周り、学食でアイスを食べながら一通り懐かしのキャンパスラ

イフを満喫し、公用車に乗り込み、

さて帰ろうか、というそのときに事

件は起つた。S学芸員(34)の運転する車が駐車場の花壇の縁石を引つ

かけ、少しズラしてしまったのだ。

車 자체は無傷なもの、二つの縁石

が少々転がり土がこぼれている。素

人が見たら、地震でこんなところまで崩れたのか、と勘違いしてもおかしくない状況であった。ちょっとそ

わそわしながら慌てて直すS学芸員、

居合わせてしまって一緒に手伝つて

くれたM先生、スタッフのTくん、

ゲラゲラ笑いながら写真を撮る僕(中

崎)。埋まらない隙間に雑草を詰めて

みたりしつつ、元の位置からは3

c mほど出ばつた復旧となつたが、

また居合わせてしまつて一緒に手伝つて

いるわけです。

もちろん、世の中に転がる九割方

のうつとりは妄想に留まり、現実と

は縁のない、うつとりするだけ時間

を過ごす。勝手にそんなことを

イメージしました。その考え方と行

動力って、とても芸術的なあ、と思

春期の青年のように悶々としたりす

るわけです。

水戸にいながら、なんだかせんだ

いメディアワークは建物の復旧が全

然できないままにいろいろ動きだ

すらしいよ、なんて噂を聞いたのは

三月末くらいだった気がします。箱

たり棚が倒れたりくらいなもので、

甚大な被害は特に受けたわけではな

いのですが、月並みだけこれまで

の生活のこととか、人生のこととか、

自分は何ができるんだろうとか、思

いよいよこの企画に参加するよ

うな人、わたしの妄想を現実にしてほし

い!という人、なんだかわからない

なよう。

●一緒にいろいろ作り上げながら、打ち上げ

でビールを飲むのが楽しい!といふ

人、わたしの妄想を現実にしてほし

い!という人、なんだかわからない

なよう。

●中崎さんはこの企画を通して、仙

台を知ろうとしています。そ

して、仙台に本格的な仕掛けをして

帰ろうと思つてているようです。こ

ん小學生、大人、高校生。そんな人た

ちがこの企画に参加すると面白いん

で、毎日つまらないな、という人。

●中崎さんにはこの企画を通して、仙

台を知ろうとしています。そ

して、仙台に本格的な仕掛けをして

帰ろうと思つてているようです。こ

ん小学生、大人、高校生。そんな人た

ちがこの企画に参加すると面白いん

で、毎日つまらないな、という人。

●中崎さんにはこの企画を通して、仙

台を知ろうとしています。そ

して、仙台に本格的な仕掛けをして

帰ろうと思つてているようです。こ